

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は956名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.69 Sくん（平成31年3月卒・機関専攻・現21歳） 海外まき網漁船

Q 仕事の内容は？

- ・ 当直（3時間のローテーション）、主機・補機・冷凍機の整備点検、網取り作業、ロープワーク・ワイヤー刺し・網修理等

Q 大変な事は？

- ・ 人間関係。力仕事が多いこと。睡眠時間が少ないこと。

Q 良い事、楽しい事は？

- ・ 100トン以上の群れを巻けたとき。仕事終わりに外国人が調理した料理を食べること。クジラ、イルカなどを見たとき。お金が貯まること。

Q 学園在学中の思い出は？

- ・ 実習や試験勉強に仲間と一緒に取り組めたこと。遠洋航海実習。

Q 学園で学んだ(身に付けた)事で、現場で役立っていることは？

- ・ 網修理やロープワークができると他の船員から重宝される。
- ・ 主機・補機の各部名称を覚えていたこと。

Q 学園を出て良かったと思うことは？

- ・ 同期の漁師仲間ができたこと。資格がたくさん取れたこと。スマホがなくても困らない生活に耐性ができたこと。

☆ 在学生にアドバイス

- ・ 在学中に理不尽だと思ったことも、船で働くようになると生徒のためであったことが理解できます。学園での生活には、無駄なことはありませんでした。
- ・ 気楽さは必要ですが、楽観的過ぎるのはよくありません。

（令和2年5月18日）